

第508回番組審議会報告

開催日 : 令和4年6月22日(水)
場所 : 山形グランドホテル
出席委員 : 柳谷豊彦 委員長/相馬佳苗 副委員長/中川愛美 委員/鈴木雅史 委員
水山和敬 委員/三浦真守 委員/中村出 委員/齋藤義紀 委員
議事内容 : ◎社側報告

1. 挨拶 横沢代表取締役社長

◎審議事項

1. 番組・視聴率・制作関連 黒須 編成制作局長兼番組審議会事務局長
2. 報道関連 後藤 取締役報道局長
3. 番組合評

◇ 「スーパーJチャンネル YTS ゴジダス」

合評基準日 令和4年6月14日(火) 18:15~18:55放送

担当: 吉田泰仁 報道局次長兼報道部長

◎その他

内容:

山形テレビの第508回番組審議会が開かれ、月曜から金曜 夕方放送のニュース情報番組「スーパーJチャンネル YTS ゴジダス」を合評しました。

国内外、県内の最新ニュース・情報を早く分かりやすく伝えるほか、ニュースを掘り下げて伝える「火曜フォーカス記者の視点」、県内の話題やグルメ情報「水曜情報局」を始めとする曜日企画、天気情報が充実しています。4月にキャスター陣を一新。合評基準日となった6月14日は県期待のサクランボ新品种やまがた紅王、新型コロナウイルス関連のニュースに加え、火曜フォーカスで参院選の特集、生中継で南陽市のバラ園の様子、天気情報を伝えました。

出席した委員からは、

「キャスター、アナウンサー自身が取材に出て自分の言葉で伝えることが多い。若く、粗削りな面はあるが身近に感じられる。どんどんチャレンジしてほしい」

「新キャスターの就任で伝えるテンポがより良くなったと感じる」

「地域、季節の話題、地産地消につながるニュースと良い情報発信だと思う。その一方、世界の動きが私たちの暮らしに直結するものもある。掘り下げて伝えてほしい」

「一つのニュースでも一歩踏み込めば違った側面が見られることもある。アンテナをたて地域にとって良いニュース作りに励んでほしい」

「新型コロナ感染者数のニュースは日常になった。ゼロになってもそれがニュースとして伝えることに意義がある」

「14日は防災ボトルの紹介があった。県外からの情報をキャスターがうまくアレンジして紹介。見落としがちな点も伝えられ勉強になった」

「季節ネタ、地域の話題バランス良いが、経済、政治といったニュースもしっかり伝えてほしい」

「ニュースとして伝えた事件事故や話題のその後についてどんな展開になったのか知りたい」

などの意見が出されました。

以上